

ブロック塀の安全を確認しましょう

平成 30 年 6 月 18 日に発生した大阪府北部を震源とする地震による塀の倒壊被害がありました。

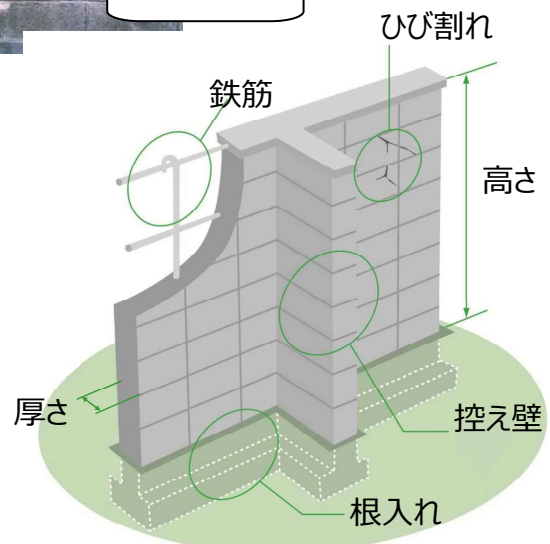
ブロック塀等の所有者等の皆さまにおかれましては、安全確認をお願いします。

危険性が確認された場合には、付近通行者に速やかに注意表示をしていただくとともに、安全なものに改修するか、撤去をお願いします。

● このようなブロック塀は注意が必要です



※写真は全国建築コンクリートブロック工業会資料より引用



※画像は日本建築防災協会資料より引用

これらのほか、

- ・鉄筋が基礎に定着していないもの
- ・鉄筋が通っていない透かしブロックが多用されているもの
- ・石垣の上など高い位置に造られているもの
- ・風化が激しい（劣化している）もの

などは、注意が必要です。

裏面のチェックポイントを確認してみましょう。

わからない場合は小牧市にご相談ください

■ 小牧市の建築基準法についての一般相談は

都市建設部 建築課 建築係 0568-76-1142

■ 小牧市では道路等に面するブロック塀等の撤去費用の助成を開始しました。

裏面をご覧ください。

■ 撤去や改修は建築士などの専門家にご相談ください。

(公社) 愛知建築士会

電話 052-201-2201

<http://www.aichishikai.or.jp/>

(公社) 日本建築家協会 (東海支部愛知地域会)

電話 052-263-4636

<http://www.jia-tokai-aichi.org/>

(一社) 全国建築コンクリートブロック工業会

電話 03-3851-1077

<http://www.jcba-jp.com/>

(公社) 日本エクステリア建設業協会 (愛知県支部)

電話 0568-73-0133

<https://jpex.or.jp/>

小牧市建築設計事務所協会

電話 0568-73-7006

ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
まず外観で 1～5 をチェックし、ひとつでも不適合がある場合は建築士などの専門家（表面参照）に相談しましょう。

点 検 項 目
<input type="checkbox"/> 1 塀は高すぎないか ・塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。
<input type="checkbox"/> 2 塀の厚さは十分か ・塀の厚さは 10cm 以上か。（塀の高さが 2m を超え、2.2m 以下の場合は 15cm 以上）
<input type="checkbox"/> 3 控え壁はあるか（塀の高さが 1.2m を超える場合） ・塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
<input type="checkbox"/> 4 基礎があるか ・コンクリートの基礎があるか。
<input type="checkbox"/> 5 塀は健全か ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しよう>

<input type="checkbox"/> 6 塀に鉄筋が入っているか ・塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。 ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。（塀の高さが 1.2m を超える場合）
--

※組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合は次によりチェックしてください。

- 1 塀の高さは地盤から 1.2m 以下か。
 - 2 塀の厚さは十分か。
 - 3 塀の長さ 4 m 以下ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
 - 4 基礎があるか。
 - 5 塀に傾き、ひび割れはないか。
- <専門家に相談しよう>
- 6 基礎の根入れ深さは 20cm 以上か。

小牧市では道路等に面するブロック塀等の撤去費用の助成を開始しました

補助対象

道路等に面する高さ 1メートル以上のブロック塀など

補助金額

① 施工業者の見積額×2/3

② 塀の長さ(m)×1万円×2/3

③ 補助金上限額 20万円

①～③のうち低い金額が補助金の額となります

（例）ブロック塀 18mの撤去費用の見積額が 21 万円だった場合

① 見積額 21 万円×2/3 = 14 万円 ② 18m×1 万円×2/3 = 12 万円 ③ 補助金上限額 20 万円
この場合、①～③のうち低い金額である、②の 12 万円が補助金の額となります。